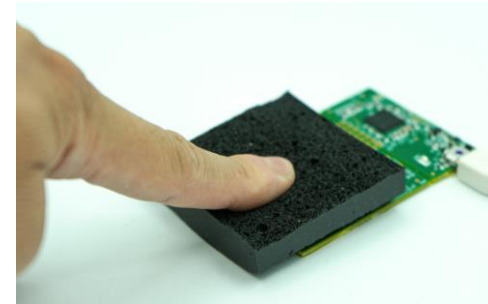


課題名 素材そのものに触覚機能を付与する次世代触覚センサ『FabSense』の事業化に向けた検討

プロジェクトの概要

我々は素材そのものをセンサ化し、素材が触られることによって生じる変化をワイヤレスで読み取ることによって触覚を知覚する次世代触覚センサ「FabSense」の事業化に向けた開発・検討を行う。本触覚センサの最大の特徴は、型成形可能な素材そのものを触覚センサ化できる点と製造した触覚センサが元となる素材の性質を引き継ぐ点である。型成形という既存の製造プロセスを流用できるため大量生産が容易であり、センサ形状の自由度が高いため、身の周りに存在する大量生産されている様々な製品に触覚機能を比較的容易に組み込むことが可能である。



ビジネスモデル(申請時)

想定顧客に初期サンプルを用いたヒヤリング及び想定実験を行うことで、求められている機能や性能とコストの規模などの仮説・検証

触覚センサ



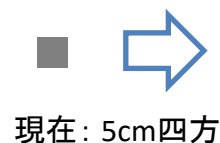
ライフサイエンス分野を中心とした市場調査



活動計画(申請時)

触覚センサの大規模化

現在の大きさでは、センシング可能な対象が限られてしまっている。そのため、材料の合成と成形によって製造されるセンサ部と計測用の回路部の面積を拡大する。



現在: 5cm四方

目標: 50cm四方

触覚センサの静特性のライブラリ化

基となる素材が異なる触覚センサの特性を数値化したデータを解析し、ライブラリを構築する。

ヒヤリングによる市場調査

触覚センサを使ってもらいヒヤリングを行うことで、求められている機能や性能とコストの規模などの仮説・検証を行い、市場を決定する。